

会 議 録

1 会議名

平成26年度第1回上越市国民健康保険運営協議会

2 報告事項（公開・非公開の別）

- (1) 上越市国民健康保険税条例の一部改正について（報告）（公開）
- (2) 平成26年度上越市国民健康保険特別会計補正予算について（報告）（公開）
- (3) 平成26年度上越市診療所特別会計補正予算について（報告）（公開）

3 議事（公開・非公開の別）

- (1) 平成25年度上越市国民健康保険特別会計決算（見込み）について（非公開）
- (2) 平成26年度上越市国民健康保険特別会計補正予算（案）について（非公開）
- (3) 平成25年度上越市診療所特別会計決算（見込み）について（非公開）
- (4) その他（公開）

4 開催日時

平成26年8月7日（木）午後1時30分から午後3時00分まで

5 開催場所

上越市役所木田庁舎 4階 401会議室

6 傍聴人の数

0人

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（順不同、敬称略）

- ・委員：堀川 正信、小川 由美子、飯田 知枝子、老川 チヨ子、大堀 信江、
西脇 幸博、木村 正子、田中 露、馬場 勇、風間 恵子、宮原 義夫、
池田 京子、荻谷 賢一、高崎 一則、松崎 富江、五十嵐 豊、香田 俊幸
- ・事務局：栗本健康福祉部長
国保年金課 佐藤課長、渡辺(義)副課長、丸山係長、小林主任
健康づくり推進課 見波課長、布施副課長、渡辺(晶)副課長、米川係長

8 委嘱状の交付

9 議事録署名委員の指名

議長の指名により、木村委員、松崎委員と決する。

10 発言の内容（要旨）

報告事項

(1) 上越市国民健康保険税条例の一部改正について（報告）

□事務局説明（国保年金課：佐藤課長）

【資料1】「上越市国民健康保険税条例の一部改正について（報告）」により説明

※質疑なし。

(2) 平成26年度上越市国民健康保険特別会計補正予算について（報告）

□事務局説明（国保年金課：佐藤課長）

【資料2】「平成26年度上越市国民健康保険特別会計補正予算について（報告）」により説明

※質疑なし。

(3) 平成26年度上越市診療所特別会計補正予算について（報告）

□事務局説明（健康づくり推進課：見波課長）

【資料3】「平成26年度上越市診療所特別会計補正予算について（報告）」により説明

※質疑なし。

議事

(1) 平成25年度上越市国民健康保険特別会計決算（見込み）について

□事務局説明（国保年金課：佐藤課長）

【資料4】「平成25年度上越市国民健康保険特別会計決算（見込み）について」により説明

●質問①（小川委員）

人間ドックの助成額が2万円の時に利用させていただいたが、1万円に減額されてからは利用を控えているところである。先日、医師会館から「人間ドックを受けませんか」というパンフレットをいただき、それを見ると近隣の妙高市や糸魚川市などは上越市と比べて助成額が高く設定されていることがわかった。できれば上越市もこの2市と同額位にしてもらえば、受診者数も増えるのではないか。予算の関係もあり、難しいとは思いますがよろしくお願ひしたい。

○事務局回答（国保年金課：佐藤課長）

糸魚川市を例にとると、人間ドックを全額無料で受けられるようにしているが、それでも受診率は上越市よりも低い状況である。このように、無料でもドックを受ける人が少ないこ

とから、糸魚川市としても受診率をあげるのに大変苦勞しているという話を聞いている。今ほどのドックの助成については、昨年度から「事務事業の総ざらい」の一環で2万円から1万円に見直しをさせていただいたものであるが、受診者の約6割から7割の方は減額された後も継続して受診している。助成額は2万円から1万円と半額になったが、受診率も比例して半分になったということではない。2万円時と比べ、1割ほどの減で済んだところである。非常に財政の厳しい中で事業を行っている。後期高齢者医療制度も同額の1万円の助成額である。ご理解をいただきたい。

●質問②（香田委員）

資料の15ページにおいて聞きたいことがある。非常によい資料だと思うがくくりが大きい。60歳代のサンプルが多く掲載されているが、この年代だと被用者保険と前期高齢者が混在している年代である。このため、区分別に示せるならばお願いしたい。

○事務局回答（国保年金課：小林主任）

手元に基データがないため、正確なことはこの場では申し上げられないが、60歳代という年代を細かくみていった時に、60歳代後半の人が多い感じである。次回、このような資料を用意する時は、もう少し年代を区切って作成するようにしたい。ちなみに、この表の②と書いてある縦軸のグレーの欄は、国保に加入した年度が記載されている。この年度に国保に加入してきた人は、被用者保険の頃の健康管理はどうだったのかということが、この表でみてとれるのではないかと思う。

●質問③（田中委員）

薬剤師の立場から発言させていただきたい。今年度の4月1日から薬価改正等もろもろあり、ジェネリック医薬品を多く使うように健康保険組合から非常に厳しい指摘を受けているところである。上越市は数量ベースでは約32%であり、低い状況と思われる。より一層の啓発を行い普及に努めていただきたい。また、処方箋に「ジェネリックへの変更不可」と記載されている場合は、薬剤師としてはどうにもならない。医師の理解と協力を得ることが普及を進める重要なポイントになると言える。

○事務局回答（国保年金課：佐藤課長）

ジェネリック医薬品の差額通知書については、今年度も2回送付を予定しているところであり、第1回目は今月下旬に発送するよう準備を進めている。また、医療費通知の中でも、ジェネリックの使用を呼び掛けているところである。さらに、医師会等を通じて春の総会の席において協力をお願いしているが、先生も様々な考えを持っている人がいることから、今

後も浸透を図っていく必要がある。

●質問④（堀川委員）

国保のデータベースが今年の秋頃に稼働する予定とのことであるが、年齢を細かく区切るなどし、データを有効に使うような考えはあるのか。

○事務局回答（国保年金課：佐藤課長）

当県では10月から11月にかけて稼働する予定と聞いている。国保の情報の他に健診データや後期高齢者となる75歳以上のデータ、それと介護保険のデータなどを合わせて統計的に分析ができる他、地域ごとの分析が可能となる。国では、各保険者にデータヘルス計画の策定について指導があるが、医療費分析をしたうえで、今後皆さんにも報告をさせていただきたいと考えている。

※議事(1)について承認することで決する。

(2) 平成26年度上越市国民健康保険特別会計補正予算（案）について

□事務局説明（国保年金課：佐藤課長）

【資料5】「平成26年度上越市国民健康保険特別会計補正予算（案）について」により説明

※質疑なし。議事(2)について承認することで決する。

(3) 平成25年度上越市診療所特別会計決算（見込み）について

□事務局説明（健康づくり推進課：見波課長）

【資料6】「平成25年度上越市診療所特別会計決算（見込み）について」により説明

●質問①（香田委員）

診療所の将来構想についてだが、国保の保険者については都道府県化が進められているところであるが、上越市が保険者で無くなった場合も現診療所は存続されるのか。或いは競合する県内の診療所に優先度が付けられ維持ができなくなるのかなど、現在把握している情報があったらお聞きしたい。

○事務局回答（健康づくり推進課：見波課長）

現時点では、具体的な情報は得ていない。今後、早急に確認をとっていききたい。地域医療の担当課としては、必要な施設であることから何とか維持できるよう働きかけをしていきたいと考えている。

●質問②（香田委員）

保険者が県に移行するという事は、診療所の存続が危ぶまれるリスクがあると思われる。地域医療だと市の担当課が思われても、県がどういう見解を示すか予想がつかない。将来見通しがないと、ある日突然優先度が付けられているといったことにもなりかねないのではないか。

○事務局回答（国保年金課：佐藤課長）

今、国で協議がされている中には、診療所の話は一切議論になっていないところである。そもそも、平成29年度に広域化がされる話がでてきたのは、平成30年度に医療圏域の見直しを予定しており、その見直しの前に国保の広域化を図るということを聞いている。診療所関係は、中山間地等のへき地に多いものであり、必要な施設であるという認識は県も持っていると思われるので、今後市としても情報を収集していきたいと考えている。

※議事(3)について承認することで決する。

(4) その他

□馬場会長説明

【その他資料】「通常総会議案」により説明

□事務局説明（国保年金課：佐藤課長）

【資料 7】「出産育児一時金等の見直しに伴う上越市国民健康保険条例の一部改正について（予定）」

【その他資料】「上越市健康増進計画をふまえた保健・医療・福祉に関する活動の視点」、「国民健康保険を巡る現状と課題」により説明

□香田委員説明

【健康保険組合連合会資料】意見広告「ピラミッドとは呼べない 2020年の日本の人口ピラミッド」により説明

※質疑なし

1.1 問合せ先

健康福祉部国保年金課 国保係 Tel.025-526-5111（内線 1140）

E-mail : kokuho-nenkin@city.joetsu.lg.jp

1.2 その他

・別添の会議資料もあわせてご覧ください。